3256	大崎義之 他17名	カボチャ	栗将軍

施肥　有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

＜土づくりの使用資材・肥料について＞

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
堆厩肥	稲わら・もみがら・油粕・牛糞・豚糞・鶏糞等			0														
産直有機入り8-8-5	ｶﾙｼｳﾑｱﾃﾞﾄ加工尿素肥料・化成肥料・硫酸加里・肉骨粉・魚かす粉末・環境保全型・なたね油かす及びその粉末	九州日紅	8	2	8		5			元肥	120	3/21	1	2.4	120	3/21	1	2.4
産直有機入り6-8-3	蒸製骨粉バッグ・チキン骨粉バッグ・フェザーバッグ・魚粉バッグ・木炭カリ・なたね・魚粉	長崎肥料	6	0	8	0	3	0	100	元肥								
カキライム	かき殻	長崎肥料	1	0	0	0	1	0	100	土壌改良								
苦土石灰	石灰石・ドロマイト原石・糖蜜	九州日紅		0					100	土壌改良								
グリーンコンポ	鶏糞堆肥	秋川牧園	1	0	1	0	1	0	100									

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分で比較して　当地比　6 割減

化学肥料	窒素使用量(kg/10a)
慣行使用量	20
実績使用量	8

*節減対象農薬

当地比　5 割減

節減対象農薬	使用回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	5	12

病虫害の防除　使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺菌	イオウフロアブル	硫黄	永池さん	うどんこ病	500		4月 中旬		0	500	200L	5/20	1	0	－	－
殺菌	Zボルドー	銅	高木さん	褐斑細菌病・黒腐病・軟腐病・斑点細菌病・	500	100～300L	5月 下旬		0	500	200L	5/23	1	0	－	－
殺菌	イオウフロアブル	硫黄	高木さん	うどんこ病	500		4月 中旬		0	500	200L	5/23	1	0	－	－
殺虫	ウララDF	フロニカミド	高木さん	アブラムシ類	2000～4000	100～300L	5月 上旬		1	2000	200L	5/23	1	1	2	2
殺菌	ライメイフロアブル	アミスルブロム	高木さん	疫病・ベト病	2000	100～300L	5～6月		1	2000	200L	6/7	1	1	4	4
殺菌	ランマンフロアブル	シアゾファミド	栗原さん	疫病・ベト病	2000	150～300L	5～6月		1	2000	160L	5/23	1	1	3	3
殺菌	Zボルドー	銅	稲田さん	褐斑細菌病・黒腐病・軟腐病・斑点細菌病・	500	100～300L	5月 下旬		0	500	180L	5/15	1	0	－	－
殺菌	ベトファイター顆粒水和剤	シモキサニル・ベンチアバリカルブ・イソプロピル	稲田さん	疫病	2000	100～300L	5～6月		2	2000	180L	5/20	1	2	3	3,3
殺菌	アフェットフロアブル	ベンチオピラド		つる枯れ病・うどんこ病	2000	100～300L	5～6月		1						3	3

備考：

最大で、化学肥料(窒素成分)は8kg以下、節減対象農薬(成分カウント)は5回以内までの使用です。　肥料は永池さんの実績です。

	計画（作業、施肥、防除など）	実績（作業）
1月	移植、播種、踏み込み温床	耕起 2/1～
2月	耕起、施肥	
3月	受粉、整枝、マルチ・トンネル被覆	耕起 ～3/10、定植 3/4～
4月	玉直し	定植 ～4/15
5月	収穫	収穫 5/30～
6月	収穫	収穫
7月	収穫 ～7/15、貯蔵	
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		

耕起開始:	令和6年2月1日
終了:	令和6年3月10日
播種開始:	－
終了:	－
定植開始:	令和6年3月4日
終了:	令和6年4月15日
収穫開始:	令和6年5月30日
終了:	令和6年7月15日